

## 9・2 広報活動

海洋国家である日本の存立基盤ともいえる海運の重要性への理解を、子供や若者を中心に広げるべく、これまで船舶や海事施設等の見学会、海に関連したイベントを通じた資料展示・提供や出前授業等を実施するとともに、SNS を活用したキャンペーンの実施等を行ってきた。2022 年度からは、重要課題のひとつとして「海事広報活動の強化」を掲げ、海運の重要性や役割の認知度を更に高め、海事産業全体に関心をもっていただくための PR プロジェクトを始動し、2023 年度からはプロジェクトを全国各地へと拡げて実施しており、2025 年度も引き続き全国的な PR プロジェクトを継続した。その他、記者会見・ホームページ・SNS・セミナー等による情報発信を行った。主な活動の概要は次の通りである。

### 9・2・1 海運の重要性に関する認知度向上のための活動（添付 9-2-1）

#### 1. 一般向け広報

##### (1) 海運の PR キャンペーンの実施

2025 年度も引き続き、海運のみならず造船や港湾等海事産業全体の認知向上を図るため、他の海事諸団体とも連携しつつ「“開運”じゃなくて、“海運”です。」をキャッチコピーとする PR プロジェクトを全国各地で展開した。

国際海事展「バリシップ」(愛媛県今治市)の開催にあわせ、5 月 12 日～22 日に広島・愛媛で「“開運”じゃなくて、“海運”です。」の TVCM を放送した。7 月には、「海の日」の機をとらえ、全国主要都市圏で若年層を主な対象に、大規模な広告キャンペーンを実施し、YouTube と映画館において動画広告を配信したほか、名古屋、大阪、神戸、福岡で駅貼り広告を掲出した。新たなコンテンツとして、海上輸送をラップで紹介する「海運ラップ」のリリックビデオも制作し、2026 年 1 月 19 日～2 月 1 日には、同ラップビデオを活用して「海運ラップ歌詞当てクイズキャンペーン」を X で開催した。このクイズキャンペーンでは、総インプレッション数は約 667 万回にのぼり、X のフォロワー数は 4.5 万人超となる等、これまで海運に触れる機会が少なかった層との接点をさらに拡大した。

各キャンペーンは、会員会社や他の海事諸団体等からの協力も得て成功裏に終わった。これら短期間の PR キャンペーンと並行して、2025 年 6 月から 1 年間にわたり、大阪メトロ御堂筋線での吊革広告を掲出した。長期間にわたり継続的に人の目に触れる媒体であったことに加え、大阪万博と時期が重なったことから、海運分野の認知度向上に大きく寄与した。

また、これら活動を更に充実・発展させるべく、来年度に向けた検討を開始した。

##### (2) 海運の認知度向上・魅力発信のためのイベント等の実施

会員会社や他の海事諸団体等と連携し、国土交通省他による「海の日記念行事」や全国各地で開催された船や港に関するイベントに、精力的に海事 PR ブースを出展した。来場者の海運への関心や理解をさらに深めるため、海運クイズや自動車船内を見学できる 360° VR 動画等を活用して海運の役割を紹介するとともに、イベントの様子を SNS(X、Instagram)で発信する等、海運の認知度向上に向けて積極的に活動した。

上記「海の日記念行事」では、ブース出展と併せて、「市岡元気先生のサイエンスライブ」を実施した。日本を代表する科学系 YouTuber 市岡元気先生による、船にちなんだ科学実験を通じ、観客約 450 名が海運について楽しみながら学んだ。

また、大島商船高等専門学校の協力を得て、北九州市と下関市において練習船による体験航海を実施した。(添付 9-2-1-2)

## 2. 学校教育関連

### (1) 教育関係者・児童向け(添付 9-2-1-2)

学校教育の場において海運の役割を取り上げた授業や校外学習に協力すべく、積極的に出前授業や海事施設の見学会を実施した。また、教員や教科書会社向けにも海事講座や見学会を実施した他、全国小学校社会科研究協議会(群馬大会)にブース出展して、出前授業への講師派遣や海運に関する資料提供について紹介する等、教育関係者に向けた広報に注力した。

### (2) 寄附講座への協力

大学生、大学院生等を対象として開講された以下の寄附講座への講師派遣等に協力した。

松山大学	公開講座「海事経済論」全 15 講座のうち、7 講座。
日本物流団体 連合会	物流全般をテーマとする大学寄附講座のうち、外航海運の講座について、青山学院大学・横浜国立大学の 2 校、計 2 講座。
関西海事教育 アライアンス	大阪大学、大阪公立大学、神戸大学の 3 大学大学院の連携授業全 9 講座のうち、4 講座
東京大学 公共政策大学院	「海事政策論」1 講座 ※授業時間(夜間)のため、コンテナターミナル見学は昨年引き続き見送り。

### (3) 日本船長協会との共催事業

児童・生徒向けの「子供達に海と船を語る」講演会を計 13 回開催し、約 890 名の児童・生徒とその保護者が参加した。

## 3. オピニオンリーダー・マスコミ向け広報

### (1) 定例記者会見の開催

定例理事会開催日等に、一般紙記者および海運専門紙記者を対象として、会長による定例記者会見を対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施した。

## (2) 記者懇談会の開催

メディア関係者の、海運への関心・理解の一層の向上を図るべく、一般紙記者を対象として、2026年2月10日に会長主催の記者懇談会を開催した。

## (3) 個別取材やインタビューへの対応

メディア関係者からの取材要請に適宜対応するとともに、会長へのインタビューを通じ、当協会の取り組む課題や活動について理解促進に努めた。

## (4) 当協会活動のホームページによる配信、総合物流情報誌「KAIUN」への掲載

海運業界が直面する諸課題や内外の動向およびこれらに対する当協会の対応や活動を主な内容とする記事を随時ホームページに掲載するとともに、SNSも活用して情報を発信した。また、総合物流情報誌「KAIUN」にも当協会常任委員メンバーの執筆による「オピニオン」や諸活動を掲載した。

## (5) 海事記者会・プレスリリース業務

会員会社および海事記者会の便宜を図るため、プレスリリースの窓口業務を行った。

### 9・2・2 環境広報活動

当協会は、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)やIMO・海洋環境保護委員会(MEPC)の開催を前にした、2021年10月26日に会長記者会見を開催し、日本の海運業界として「2050年GHGネットゼロへ挑戦する」ことを表明し、当協会ホームページに特設ページを開設した(詳細は2021年度年報ご参照)。海運業界の環境保全の取組みに関わる周知については、2018年1月に設置した環境広報タスクフォース(TF)で活動してきた。同TFは、2025年5月に解散のうえ、その機能を関係幹事会に移行することとなった。

2025年度に関しては、臨時MEPCでのIMOネットゼロフレームワークの審議中断の影響により特設ページの大幅な刷新は見送ったものの、当協会の活動状況について情報発信を実施、特に関係者には下掲(「環境セミナー」(9・2・3ご参照))の通り、今後の展望も含めた情報共有を行った。

なお、環境保全への取組みを説明する際、コストに関する内容にも触れ得る場合は、競争法を遵守するため、弁護士や公正取引委員会等にも適宜相談・確認しつつ活動することとしている。

### 9・2・3 セミナー等の開催

#### 1. 「環境セミナー」の開催

当協会は、例年、環境や海上安全を巡る諸課題に関して情報の提供や問題意識の共有を目的としたセミナーを開催している。2025年度は2026年2月16日に、「環境セミナー」を開催し、会員のほか関係省庁、海事関係者などオンラインを含め180名近い参加者を得た。

本セミナーでは、当協会加藤雅徳副会長の開会挨拶に続き、以下の通り5名の講師より講演いただいた。(同セミナーは[当協会HP](#)でも公表)

1. IMO Net-Zero Framework の動向と海運業界への影響

国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 環境渉外室長 塩入隆志 氏

2. 環境対応に関わる関係者の取り組み (1):燃料転換

① 各種の将来燃料候補について - その特徴と課題

ENEOS 中央技術研究所 燃料技術グループ 渡邊学 氏

② 海運業における脱炭素取り組みに対する現状認識と今後の展望

出光興産 原油・海外事業部 次長 橋本朋広 氏

3. 環境対応に関わる関係者の取り組み (2):航行効率・燃費改善

① 船体抵抗低減や推進性能向上に関する研究と成果

海上技術安全研究所 流体設計系流体制御研究グループ グループ長 久米健一 氏

② 脱炭素船開発のためのシミュレーション基盤構築に向けた取り組み

東京大学大学院 海事デジタルエンジニアリング講座 特任研究員 三上航平 氏

2.「2026 年 海運講習会」の開催

例年、3 月末に会員会社等の新入社員を主な対象として、社会人としての門出を祝し、海運人としての自覚を促す一助に「海運講習会」を 1957 年から開催している。2026 年(2025 年度)は、3 月 31 日に対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催した。

全国各地から、24 社約 300 名が同講習会を受講した。

# 海運の重要性に関する認知度向上のための活動

## 1. 一般向け広報

- (1) 海運PRキャンペーンの実施 ※2、3頁ご参照
- (2) 海運の認知度向上・魅力発信のためのイベント実施

### 「イベントブース」出展



### 「市岡元気先生」サイエンスライブ 7/21 (海の日記念行事)



## 2. 学校教育関連

- (1) 教育関係者・児童向け  
＜出前授業の様子＞



### ＜海事施設見学会の様子＞



- (2) 寄附講座への協力



- (3) 日本船長協会との共催事業 (船長による出前授業)



帝京大小学校

港区立筈小学校

# 海運PRキャンペーンの実施（2025年度実施結果）

2022年度より、海運のみならず造船や港湾等海事産業全体の認知向上を図るため、「開運」じゃなくて、「海運」です。」をキャッチコピーとするPRプロジェクトを全国各地で展開。

## 1. 大阪メトロつり革広告



両面デザイン

期 間：2025年6月6日（金）から2026年6月5日（1年間）  
掲載場所：大阪メトロ 御堂筋線（なかもず駅～箕面萱野駅間）  
走行車両の1号車（先頭1車両）の吊革約60本

## 2. 駅貼り広告



大阪（JR大阪駅）  
7/21（月祝）～7/27（日）



名古屋（名古屋市宮地下鉄名古屋駅）  
7/21（月祝）～7/27（日）



神戸（神戸市宮地下鉄三宮駅）  
7/24（木）～7/30（水）



福岡（西鉄西鉄福岡(天神)駅）  
7/21（月祝）～7/27（日）

## 3. YouTube・YouTubeショート広告（\*画像はイメージです）



配信期間：2週間（7/18（金）～7/31（木））  
配信地域：関東1都6県、関西2府4県、中京3県、北海道、福岡、広島、愛媛

## 4. 劇場内広告（\*画像はイメージです）



放映期間：7/18（金）～7/31（木）  
放映場所：東京（新宿バルト9、TOHOシネマズ渋谷）  
横浜（T・ジョイ横浜、横浜ブルク13）  
名古屋（イオンシネマ大高）

上記映画館にて、「劇場版『鬼滅の刃』無限城編』の上映時に、動画広告を放映。

# 海運PRキャンペーンの実施（2025年度実施結果）

2022年度より、海運のみならず造船や港湾等海事産業全体の認知向上を図るため、「開運」じゃなくて、「海運」です。」をキャッチコピーとするPRプロジェクトを全国各地で展開。

## 5. 海運ラップ

### 楽曲提供



特設サイトにて限定公開中



ALI-KICK



大久保 潤也

30秒のリリックビデオ（歌詞を主軸に構成された動画）日本を支える「海上輸送」をラップにのせてわかりやすく歌詞で説明（次頁ご参照）

7/21「海の日記念行事」サイエンスライブ冒頭で初披露 各種SNSアカウントでも動画を投稿した

## 6. 海運ラップ歌詞当てクイズキャンペーン



開催期間：1/19（月）～2/1（日）  
開催場所：当協会公式Xアカウント内

海運ラップ動画内のリリック（歌詞）に関するクイズを全4問出題 フォローおよびリポスト後にクイズへ参加可能とし、期間中はいつでも全問に挑戦できる形式

賞品として、デジタルギフト（700名）および海運グッズ（20名）を用意し、自動抽選方式によりその場で当選が確定

## 2025年度 広報活動 イベント一覧 (2026年3月30日時点)

No	一般/教育	開催日	名称	開催地
1	一般	4月5日~5月18日	ギョギョッとサカナ★スター展(4/5 現地対応他、グッズ・資料提供)	愛媛県 松山市
2	一般	5月3~6日	DEJIMA 博【ONE に協力/グッズ・資料提供のみ】	長崎県 長崎市
3	教育	5月14日	出前授業(カイト日本人学校)1/2 回目	WEB
4	一般	5月31日、6月1日	海洋文化都市くれ海博 2025	広島県 呉市
5	教育	6月11日	コンテナターミナル見学(新潟市立南浜中学校)	新潟県 新潟市
6	教育	6月16日	川崎港コンテナターミナル見学会(日大)	神奈川県 川崎市
7	教育	7月3日	出前授業(カイト日本人学校)2/2 回目	WEB
8	教育	7月10日	コンテナターミナル・LNG 基地見学会(新潟市立早通南小学校)	新潟県 新潟市
9	教育	7月11日	コンテナターミナル・LNG 基地見学会(聖籠町立亀代小学校)	新潟県 新潟市
10	教育	7月12日(、13日)	海洋都市横浜うみ博 2025[7/12 教育関係者向け PCC 等見学会]	神奈川県 横浜市
11	教育	7月16日	コンテナターミナル・LNG 基地見学会(新潟市立青山小学校)	新潟県 新潟市
12	教育/一般	7月21日	海の日記念行事 2025(東京国際クルーズターミナル)	東京都 江東区
13	教育	7月28日	JMU 磯子造船所・川崎港コンテナターミナル見学(都小社研)	神奈川県 横浜市/川崎市
14	一般	7月30日	故郷の海を愛する会(JMU 津造船所と体験航海)	三重県 津市/鳥羽市
15	教育	8月4日	川崎港コンテナターミナル見学会(拓大・専大)	神奈川県 川崎市
16	一般	8月6日	故郷の海を愛する会(JMU 津造船所と体験航海)	三重県 津市/鳥羽市
17	教育	8月6日	JMU 磯子造船所・横浜みなと博物館(都中社研)	神奈川県 横浜市
18	一般	8月8日	大島商船高専「大島丸」体験航海	福岡県 北九州市
19	一般	8月9日	大島商船高専「大島丸」体験航海	山口県 下関市
20	教育	9月10日	出前授業(私立帝京大学小学校)	東京都 多摩市
21	一般	10月11日、12日	第52回川崎みなと祭り	神奈川県 川崎市
22	教育	10月15日	コンテナターミナル・LNG 基地見学会(新潟市立有明台小学校)	新潟県 新潟市
23	教育	10月17日	コンテナターミナル・LNG 基地見学会(新潟市立万代長嶺小学校)	新潟県 新潟市
24	教育	10月24日	出前授業(鎌倉市立第一小学校)1/2回目	神奈川県 鎌倉市
25	一般	11月1日、2日	北九州港開港記念イベント	福岡県 北九州市
26	教育	11月4日	出前授業(函館市立大森浜小学校)	北海道 函館市
27	教育	11月4日	出前授業(函館市立北星小学校)	北海道 函館市
28	教育	11月4日	海事施設見学(世田谷区立砧南小学校)	神奈川県 川崎市
29	教育	11月4日	海事施設見学(新宿区立四谷小学校)	神奈川県 川崎市
30	教育	11月5日	出前授業(函館市立駒場小学校)	北海道 函館市
31	教育	11月5日	出前授業(函館市立青柳小学校)	北海道 函館市
32	教育	11月6日	海事施設見学会(函館市立大森浜小学校)→延期	北海道 函館市
33	教育	11月6日	海事施設見学会(函館市立駒場小学校)→延期	北海道 函館市
34	教育	11月6日	海事施設見学会(函館市立青柳小学校)	北海道 函館市
35	教育	11月7日	海事施設見学会(函館市立北星小学校)	北海道 函館市
36	一般	11月8日、9日	名古屋港イベント ※日本丸寄港	愛知県 名古屋市
37	教育	11月12日	出前授業(中野区立北原小学校) *見学会 11/25	東京都 中野区
38	教育	11月13日	海事施設見学会(中央区立佃島小学校)	東京都 江東区
39	教育	11月13日、14日	全国小学校社会科研究協議会研究大会	群馬県 高崎市/前橋市
40	教育	11月18日	出前授業(昭島市立富士見丘小学校)	東京都 昭島市
41	教育	11月20日	出前授業(港区立筭小学校)	東京都 港区
42	教育	11月25日	コンテナターミナル見学(中野区立北原小学校)	東京都 品川区
43	教育	11月28日	海事施設等見学会(さいたま市立浦和大里小学校)	東京都 江東区
44	教育	12月2日	出前授業(越谷市立桜井南小学校)	埼玉県 越谷市
45	一般	12月14日	故郷の海を愛する会(鳥羽商船高専の歴史と船と海の話)	三重県 鳥羽市
46	教育	12月16日	出前授業(江東区立数矢小学校)	東京都 江東区
47	教育	1月23日	川崎港コンテナターミナル、海事施設見学会(三鷹市立高山小学校)	東京都 三鷹市
48	教育	1月29日	海事施設見学会(府中市立府中第十小学校)	東京都 江東区